

# 小松SSHだより

石川県立小松高等学校

第2号 R6年8月  
編集：SSH推進委員会  
発行責任者：米口 一彦

## 課題探究Ⅱ 開講式～中間報告会

「課題探究Ⅱ」では、毎週金曜日5、6限目に、理数科2年生が少人数のグループに分かれて課題研究に取り組みます。これらの研究の成果は、第1回究める課題研究発表会（11月2日）、SSH課題研究ポスター発表会（1月17日）、石川県SSH生徒研究発表会（1月22日）、課題研究英語ポスター発表会（3月14日）、第2回究める課題研究発表会（3月16日）で発表します。

4月19日（金）に開講式が行われ、米口校長先生から「コップの水はなぜ落ちないのか」と「コアンダ効果」の2つの原理の実験を見せていただき、これから課題研究をはじめ生徒たちに熱い激励の言葉をいただきました。また、課題研究担当の先生からは、これからの課題探究の流れについての説明と実験室の使用マナーについての説明をしていただきました。毎週の活動時間にはどのグループも意欲的に取り組み、活発に意見交換を行っていました。

6月14日（金）と6月19日（水）には、こまつ研究サポートプログラム「課題研究中間報告会」の第1回目が行われました。金沢大学から森下知晃先生、佐藤政行先生、小松崎俊彦先生、川上裕先生、中野正俊先生、金沢工業大学から草野英二先生、石川県立大学から中谷内修先生、北陸先端科学技術大学院大学から國藤進先生に参加していただきました。生徒たちは自分たちで考えた研究テーマについてのアイデアを先生方に聞いていただき、専門的な視点からこれから研究を進めていくための方法や注意すべき点などについてのアドバイスをいただきました。

### 生徒の声

- 社会的な視点で、研究についてのアイデアをいただくことができました。
- 知識の幅がとても広く、探究活動の幅を広げるアドバイスをたくさんしてくださいました。



草野先生



中野先生



中谷内先生



森下先生



國藤先生



川上先生



小松崎先生



佐藤先生

### ● 開講式 ●



### 校長先生の 実験



## 「課題探究Ⅱ(2年理数科)」 「課題探究(2年普通科理系)」 特別講義

4月26日（金）に石川県立大学の中谷内修先生をお招きして2年理数科対象「課題探究Ⅱ」の特別講義が行われ、探究活動の意義や方法、注意点などについて説明していただきました。生徒たちはとても興味深く話をきいていて、探究活動への興味・関心が高まったようでした。

5月2日（木）にも石川県立大学の中谷内修先生をお招きし、2年普通科理系対象「課題探究」の特別講義が行われ、課題探究のかたちや課題の設定についてのお話をいただきました。生徒たちは次回からの探究活動に活かそうと熱心にメモを取っていました。



課題探究Ⅱ



課題探究

# SSH成果発表会（公開授業）

7月12日（金）にSSH成果発表会を開催しました。今回は2限目、3限目に全学年のすべてのクラスで課題発見型授業もしくは領域融合型授業を行い、そのすべてを公開しました。そして当日は、来賓として松原道男先生（金沢大学教授）、遠藤貴広先生（福井大学准教授）、田中忠芳先生（金沢工業大学准教授）、本校SSH運営指導委員の長尾誠也先生（金沢大学教授）、草野英二先生（金沢工業大学教授）、米澤和洋さん（小松マテーレ監査役）、東口幸央先生（国府中学校校長）に公開授業を見ていただき、講評をしていただきました。また、県内の中学校、高校の先生方および石川県教育委員会の指導主事の方など多数の方々に来校していただき、本校の課題発見型授業および領域融合型授業の取り組みを見ていただきました。

## <課題発見型授業>

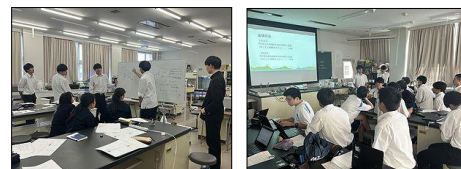


## <領域融合型授業>



## 課題探究Ⅲ（理数科3年生）

「課題探究Ⅲ」では、理数科3年生が工学、社会学、数学/物理、生物/化学（生化学分野）、生物/化学（薬学分野）の5つのコースに分かれて、小人数グループで領域融合型の発展的な内容での探究活動を行いました。7月16日（火）には、成果発表会が行われました。



探究活動

発表会

## 高校生と究める探究教室

SSH探究活動の普及の一環として、小松高校の生徒たちが近隣の中学校を訪問し「高校生と究める探究教室」を開催しました。

7月9日（火）には理数科2年生39名で小松市立国府中学校を訪問し、中学1年生46名と一対一もしくは一対二のペアになり、理科の自由研究について、研究テーマの見つけ方や研究活動の進め方などについてアドバイスをを行いました。

7月25日（木）には科学系部活動所属の2年生7名が小松市立安宅中学校を訪問し、中学1年生2名、中学2年生4名に対して自由研究のテーマ設定についての相談・助言を行いました。

### 生徒の声



国府中学校

安宅中学校

- 中学生は好きなものが色々あってそれをたくさん言っていたので、身近なものをよく見ることの大切さを感じました。
- 人にわかりやすく説明するには自分がしっかりと理解していないとできないと実感しました。

物理チャレンジ  
生物学オリンピック  
化学グランプリ

「物理チャレンジ（第1チャレンジ）」には本校から3年生6名、2年生13名が挑戦しました。今年の実験課題レポートは「身のまわりの運動を調べてみよう」でした。また、7月7日（日）に理論問題コンテストがオンラインIBT試験で行われました。

7月14日（日）に「生物学オリンピック（予選）」がオンライン（CBT）で行われ、本校から3年生12名、1年生2名が挑戦しました。

7月15日（月・祝）に「化学グランプリ（一次選考）」が金沢大学で行われ、本校から3年生18名、1年生2名が挑戦しました。